

ILSI Japan 活動報告<2024>

食品安全研究会

【食品リスク研究部会】

活動ビジョン・ゴール	年度目標
食品の安全性評価の考え方を学び、その普及に努める。	① 食品リスク研究に関する勉強会を 3 回以上開催し、情報発信する。 ② 「ナチュラルミステイク」の情報発信。

	進捗・課題	予定・行動計画	関連団体等
1, 2 月	2 月 21 日に部会をハイブリッド開催した。 ① 今年の勉強会も昨年同様 3 回を目途に有志によるWGを形成して企画運営する。 ② 「ナチュラルミステイク」については監訳者のインタビュー記事掲載により、12 月の売り上げが急拡大したため、対応を一時中断する。	① 勉強会開催に向けて、企画・準備を進める。 ② 今後の売れ行きを注視して再検討する。	
3, 4 月	4 月 12 日に部会を開催した。 ① 勉強会は本年 8 月、10 月、12 月を目途に 3 回開催とする。回毎の勉強会担当者を決定し、準備を開始した。 ② 進捗なし。	第 1 回勉強会は国立医薬品食品衛生研究所の小川久美子先生、元国立医薬品食品衛生研究所の畝山智香子先生をお招きし、二酸化チタンの安全性と国内外の規制についてお話しいただくこととなった。8 月 29 日にハイブリッドで開催する。	
5, 6 月	6 月 24 日に部会を開催した。 ① 第 1 回勉強会は 8 月 29 日にハイブリッド開催で「食品添加物二酸化チタンの安全性を取り巻く状況」と題して、国立医薬品食品衛生研究所の小川久美子先生と畝山智香子先生にご講演いただくことが決定した。 第 2 回は食品と食品添加物のアレルギー評価に関するテーマで開催する方向となった。 ② 進捗なし	第 2 回勉強会は 9 月末～10 月開催予定。第 3 回勉強会は 11 月～12 月開催予定。	

7, 8月	<p>① 8月29日に第1回勉強会をハイブリッド開催した(会場:森下文化センター)。「食品添加物二酸化チタンの安全性を取り巻く状況」と題して、国立医薬品食品衛生研究所の小川久美子先生と畝山智香子先生にご講演いただいた(有料参加者26名)。</p> <p>② 同日、部会を開催し、第2回勉強会は、「食品・食品添加物のアレルギー性評価について」のタイトルで手島玲子先生に、第3回勉強会は、「食品安全に関する消費者意識の変遷—今、食品企業に求められること—」のタイトルで森田満樹先生にそれぞれご講演いただくこととなった。</p>	<p>勉強会予定 第2回:10月30日(水) 第3回:12月9日(月) 場所はいずれも森下文化センター及びWebのハイブリッド</p>	
9, 10月	<p>① 10月30日に第2回勉強会をハイブリッド開催した(会場:森下文化センター)。「食品・食品添加物のアレルギー性評価について」と題して、国立医薬品食品衛生研究所客員研究員の手島玲子先生にご講演いただいた(有料参加者29名)。</p> <p>同日、部会を開催し本年勉強会についての「イルシー」誌へのフラッシュレポートの内容を確認した。</p>	<p>勉強会予定 第3回:12月9日(月) 場所:森下文化センター及びWebのハイブリッド 「イルシー」誌への投稿: ・勉強会全体のフラッシュレポート(162号) ・第2回勉強会の内容を手島玲子先生による書き下ろし原稿として投稿(162号)</p>	
11, 12月	<p>① 12月9日に第3回勉強会をハイブリッド開催した(会場:森下文化センター)。「食品安全に関する消費者意識の変遷—今食品企業に求められること—」と題して、森田満樹先生(FOOCOM)にご講演いただいた(有料参加者24名)。</p> <p>同日、部会を開催し本年勉強会の振り返り、「イルシー」誌へのフラッシュレポートの内容・スケジュールを確認した。</p>	<p>・勉強会全体のフラッシュレポート(「イルシー」162号) ・第2回勉強会の内容を手島玲子先生による書き下ろし原稿として投稿(「イルシー」162号)</p>	